



ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー

おかげさまでトリプル受賞!

# 12期連続受賞

「エネージュAF」 「エネージュAF-2」  
2021年度《特別優秀賞・優秀賞・省エネ住宅特別優良企業賞》受賞!



ヤマト住建は、この度、一般財団法人日本地域開発センターが主催する省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2021」において、特別優秀賞（受賞商品：「エネージュ AF」）・優秀賞（受賞商品：「エネージュ AF-2」）・省エネ住宅特別優良企業賞の、弊社では最多となる3つの賞を同時受賞いたしました。ヤマト住建は2009年度の初参加以来、毎年受賞を続け今年度で12期連続での受賞となります。

省エネ・高気密・高断熱住宅の普及やZEH促進への取り組みが高く評価されました。



※写真・パースは当社施工例です。

特別優秀賞を受賞した「エネージュAF」は、断熱性能の指標となるUA値は0.26 [W/m<sup>2</sup>・k] で、国が推進するZEHよりも高い水準のHEAT20の最高グレード〈G3〉を満たします。さらに、ルームエアコン2台で部屋間の温度差を低減し快適な暮らしを実現する室内空気循環機能「Airフローシステム」と、CO<sub>2</sub>排出が無く光熱費を削減する太陽光発電(5kW)が標準仕様です。同商品は業界トップクラスの高気密・高断熱により『2021年度省エネ大賞』でもその高い省エネ性能が認められました。優秀賞を受賞した「エネージュ AF-2」は、HEAT20の〈G2〉グレードを上回るUA値0.40 [W/m<sup>2</sup>・k] の高気密・高断熱性能を有し、太陽光発電 (5kW) を搭載しています。当商品では、全館空調「YUCACOシステム」もしくは「Airフローシステム」のいずれかを選択可能な「選べる仕様」として展開しています。

「Airフローシステム」においては、ルームエアコン2台で稼働し、空調室いらずなので低コストで導入でき、消費者の負担低減にも貢献します。

また、省エネ・高性能住宅の普及においても高く評価されており、前年度より新設の『省エネ住宅特別優良企業賞』を2年連続での受賞となりました。

主催 一般財団法人日本地域開発センター

受賞名 「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 2021」

受賞内容 特別優秀賞 - 「エネージュAF」、優秀賞 - 「エネージュAF-2」、省エネ住宅特別優良企業賞

## ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 概要

建物躯体と設備機器をセットとして捉え、トータルとしての省エネルギー性能やCO<sub>2</sub>削減等へ貢献する優れた住宅を表彰し、日本における省エネルギー住宅の普及と質的な向上に貢献することを目指しています。

- 〈視点1〉 外皮・設備の省エネルギー性能値
- 【評価の視点】 〈視点2〉 多様な省エネルギー手法の導入および健康、快適性 その他の取り組み
- 〈視点3〉 省エネルギー住宅の普及への取り組み